【提出用】

呼吸器専門医認定申請

カリキュラム以外の研修実績　申告用紙（外科系）

氏名、会員番号を記入

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 会員番号 | ※受付番号（事務局記入欄） |
|  |  |  |

カリキュラム以外の研修実績について申告すること

カリキュラム以外の研修項目とは、原則として、呼吸器学会専門医制度運用内規の記載にしたがうもの（医療倫理、医療安全、感染対策、医療関連法規、医療事故対策、異状死の対応、人間関係、EBMの実施）とする。

代表的なものを3つ記載し、受講を証明するもの（参加証またはプログラム等）を添付［コピー可］

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学会、講習会名称 | 受講日 | 受講項目 | 研修項目名 |
| 記入例）  第100回ICD講習会 | 2010年4月25日 | “新型”インフルエンザ対策を考える | 感染対策 |
|  | 年　　月　　日 |  |  |
|  | 年　　月　　日 |  |  |
|  | 年　　月　　日 |  |  |

**気管支鏡検査・手技　提出要項**

・外科専門医（日本外科学会認定登録医を含む）取得後に経験した手技について申告すること。

**気管支鏡検査…10件（末梢病巣擦過法…3件、BAL, TBLB, TBB…3件を含む）**

**人工呼吸管理・レスピレータ…1件**

**術者として開胸手術・胸腔鏡下手術…3件（開胸手術、ロボット支援を含む胸腔鏡下手術、胸骨正中切開によるもの）**

については、これを証明する書類（所見用紙・記録用紙・退院サマリー・病歴要約等）を添付すること。原則として介助者ではなく、術者のものをご提出下さい。

・吸入療法，NIPPVにかえて開胸手術・胸腔鏡下手術を必須とする。

・提出用カバーページは必要に応じてコピーして使用すること。

・手技、担当について、あてはまるものに□内にチェック☑すること。

・手技の表に実施件数を記入すること。実施件数の申告数は記録として名前の記載がある数です。

【提出用】

呼吸器専門医資格認定申請

手技　申告用紙（外科系）

氏名、会員番号を記入

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 会員番号 | ※受付番号（事務局記入欄） |
|  |  |  |

●下記表に実施件数を記入すること。

●要提出件数分の所見用紙・記録用紙・退院サマリー等を添付すること。

●人工呼吸管理、レスピレータについては病歴要約の添付可。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 手技 | 実施件数（必要経験件数） | 要提出件数 |
| 気管支鏡検査 |  | 計10 |
| 末梢病巣擦過法 | 件（10） | 3 |
| BAL, TBLB, TBB | 件（10） | 3 |
| 気管支鏡 | 件（20） | 4 |
| 胸腔穿刺 | 件（10） | 0 |
| 胸腔ドレナージ | 件（ 5） | 0 |
| 気管挿管 | 件（ 5） | 0 |
| 人工呼吸管理、レスピレータ | 件（ 2） | 計1 |
| 開胸手術・胸腔鏡下手術 | 左記 1) 2) 3)  合わせて (20）  　　　　　件 | 計3 |
| 1)側方開胸手術 |
| 2)胸骨正中切開 |
| 3)胸腔鏡手術 |

|  |  |
| --- | --- |
| 責任者が記名する欄 | |
| 施設名 | 責任者の記名・捺印または自署 |
|  |  |

責任者は、申請者の研修内容について十分確認の上、記載すること。

原則として指導医とする。または在籍中の診療部門の責任者とする。

*提出用カバーページ*

**気管支鏡検査**

あてはまるものにチェック☑

手技

□末梢病巣擦過法

□BAL

□TBLB

□TBB

□その他

担当

□術者

□助手

□指導的助手

*提出用カバーページ*

**人工呼吸管理・レスピレータ**

**１件**

あてはまるものにチェック☑

担当

□術者

□助手

□指導的助手

*提出用カバーページ*

**開胸手術・胸腔鏡下手術**

**３件**

（開胸手術、ロボット支援を含む胸腔鏡下手術、胸骨正中切開によるもの）

あてはまるものにチェック☑

□開胸手術

□胸腔鏡下手術

□胸骨正中切開

担当

□術者